



～きらっ！と わくわく やさしい風ふく 香我美小～

みかん

香我美小学校だより 第19号
令和8年10月19日
校長 岡崎 恵子

正門のいちょうの葉を集めたり、虫探しをしたりするなど、深まる秋の訪れを五感で楽しむ子ども達の姿が見られる時期ですが、ニュースでは13年ぶりとなる「台風30号」の発生が報じられています。変化する気象情報に気を配りながら、子ども達と「深まる秋」を感じていきたいと思ひます。

ドッジボール集会を楽しむ子ども達



♪音楽鑑賞会♪

～瀬戸フィルハーモニー交響楽団～

「芸術の秋」のひとつときを、子ども達と一緒に素敵な音楽を聴きながら過ごしていただけたら幸いです。

明日(10/20 火)

14:00～14:45 体育館にて

※詳細はすぐー(10/7 配信)でご確認ください。

レンズ越しに出会う子ども達の☆きらっ！と☆

授業中、校内を巡回しながら子ども達にカメラを向ける瞬間があります。

すると子ども達は、すっと背筋を伸ばしたり、少し誇らしげな表情を浮かべたり、真剣にノートに向かう姿を見せてくれます。レンズ越しに飛び込んでくる、「自分の頑張りを見てほしい。知ってほしい。」「もっと認められたい。」という、とても素

直でまっすぐな心を感じます。休み

時間には「見せて！」「また撮りに来てよ」「玄関のモニターに映して」の声も聞かれます。

人は誰しも、「見守られている」「認められている」という安心感があるときに、本来持っている素敵な自分を発揮できると思ひます。そんな素敵な自分の気づきが自分自身をさらに成長させていくのではないかと思ひます。



☆きらっ！と☆児童会の子も達も！！

「自分達の学校の素敵なところを自分達の手で切り取って発信したい！」と縦割り掃除の様子を撮影していました。カメラを向けられた全校の子ども達がいつも以上に張り切って掃除に励む様子……！縦割りだからこそ生まれる上級生が下級生を優しくリードしたり、互いに「いいところを撮ってもらおう！」と励まし合ったりする姿。児童会の主体的な活動と応える子ども達の「きらっ！と☆」が学校を創っていることを感じました。

学校生活では、時に壁にぶつかることもあります。私達は「頑張ること」と同じくらい、「困った時に『助けて』『嫌だ』と言えること」も大切な生きる力(自立)だと考えています。子ども達が自分の心を大切にでき、一人ひとりが安心して自分らしくいられる「心の居場所」となれるよう、保護者の皆様とともに子ども達の成長を温かく支えていきたいと思ひます。安心して立ち止まれる温かな居場所となれるよう、ご家庭と手を取り合って寄り添ってまいります。

～「自分も相手も守る」「困った時はSOSを出し合う」は、子どもにとっても大人にとっても大切な姿勢です。～